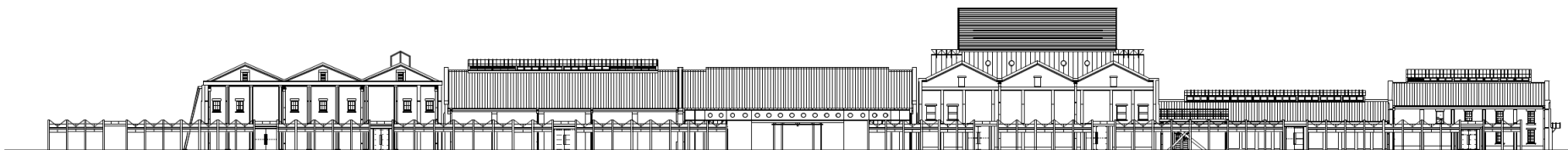


金沢市民芸術村 リニューアル基本構想検討委員会

第2回会議

2025年11月5日



目 次

- 1 第1回会議の主な意見
- 2 市民アンケートの結果
- 3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案
- 4 第2回会議における意見交換の論点
- 5 今後のスケジュール

1 第1回会議の主な意見

(1)既存施設の利便性・機能性の向上について

分類	主な意見
修繕・改修の方向性について	建物をつかいこなす <u>クリエイティブな空間</u> は、今後も維持すべき。
	既存施設において <u>必要な個所の修繕</u> を実施すればよい。
	施設の整備から30年以上が経過すると、社会のニーズも変化しているため、時代のニーズに適したリニューアル整備になるとよい。
運営について	ハードだけでなく、 <u>市民ディレクター制度</u> も金沢市における文化継承の観点から継続すべき。
設備改修について	アート工房において、照明を変更できるのであれば、美術作品展示に適した照明の採用を検討してほしい。
	ドラマ工房のもぎり場所などの空調設備が必要な場所には設備の追加整備できるとよい。
	音が気になる空調設備や照明設備は30年以上経過すると改修が必要であるため、この機会に性能アップも必要である。

1 第1回会議の主な意見

(2)新施設に求められる機能について

主な意見

新たな歴史として、新たな要素を加え、新しいものをつくりだすことに焦点を当てるとよい。

練習、発表、交流がミックスするよう、新たな施設は「みせる」、「みえる」ことで交流するようなものとなるとよい。

教会のように音が漏れだし人々が集まる空間を整備する考え方が、市民芸術村のコンセプトに即したものだ考える。

制作部分を観覧できる場所が整備できると面白い。

練習に特化した施設が増えると、利用者としては施設の倍率が減り、使える機会も増える。

金沢市アートホールまでは不要であるが、小さな施設規模でも発表できる場所があると、様々な人が気軽に立ち寄れる場所や、様々な文化にふれる機会などになる。

若者が気軽にリサイクルできる空間があるとよい。

音の響きは音楽にとって大切であるため、響きのよい練習場があるとよい。

野外ステージがあってもよい。

子ども塾の拠点として活用できるとよい。

「金沢素囃子子ども塾」の観点から、伝統芸能における各パート毎の練習場があるとよい。

基本的な和室のスペースがあるとよい。

デジタル化を進め、リアルタイムで外部と連携・セッションができると面白い。

2 市民アンケートの結果

(1)実施期間と方法

実施期間:8月1日(金)～8月31日(日)
(31日間)

方 法:金沢市電子申請サービスによる回答 (無記名で実施)

(2)回答数 : 425件

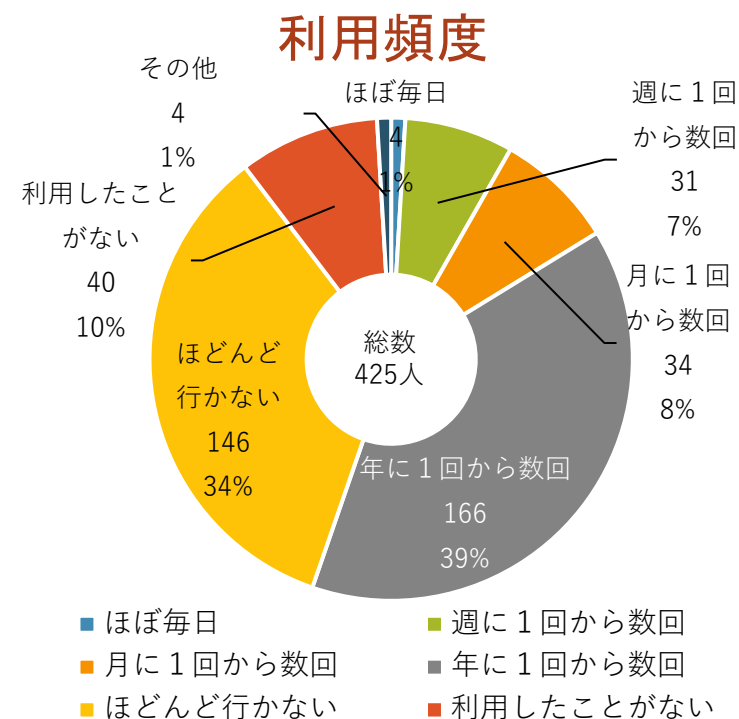
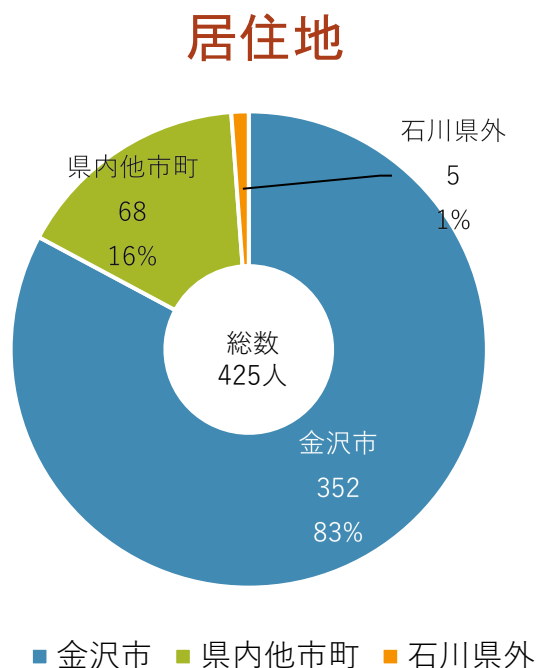
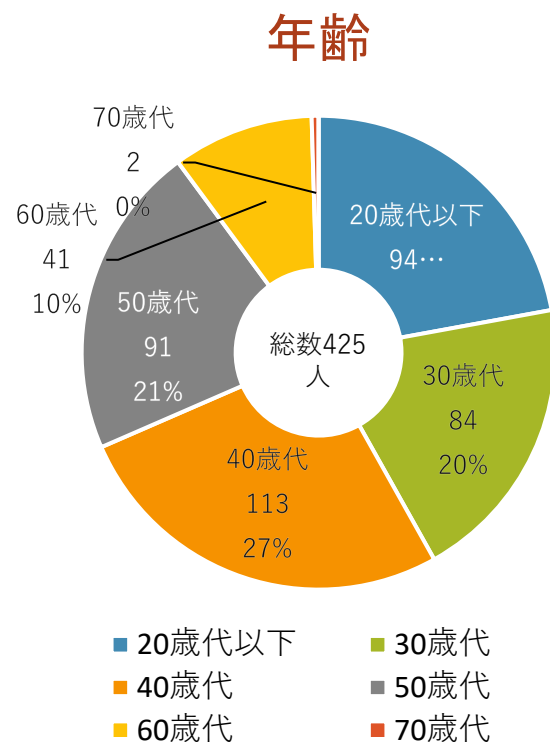
2 市民アンケートの結果

(3) 回答者の属性、現在の利用状況

年齢 概ね多様な世代より偏りなく回答

居住地 「金沢市」の方からの回答が約8割

利用頻度 「年に1回から数回程度」が約4割と最も高く、次いで「ほとんどいかない」が高い

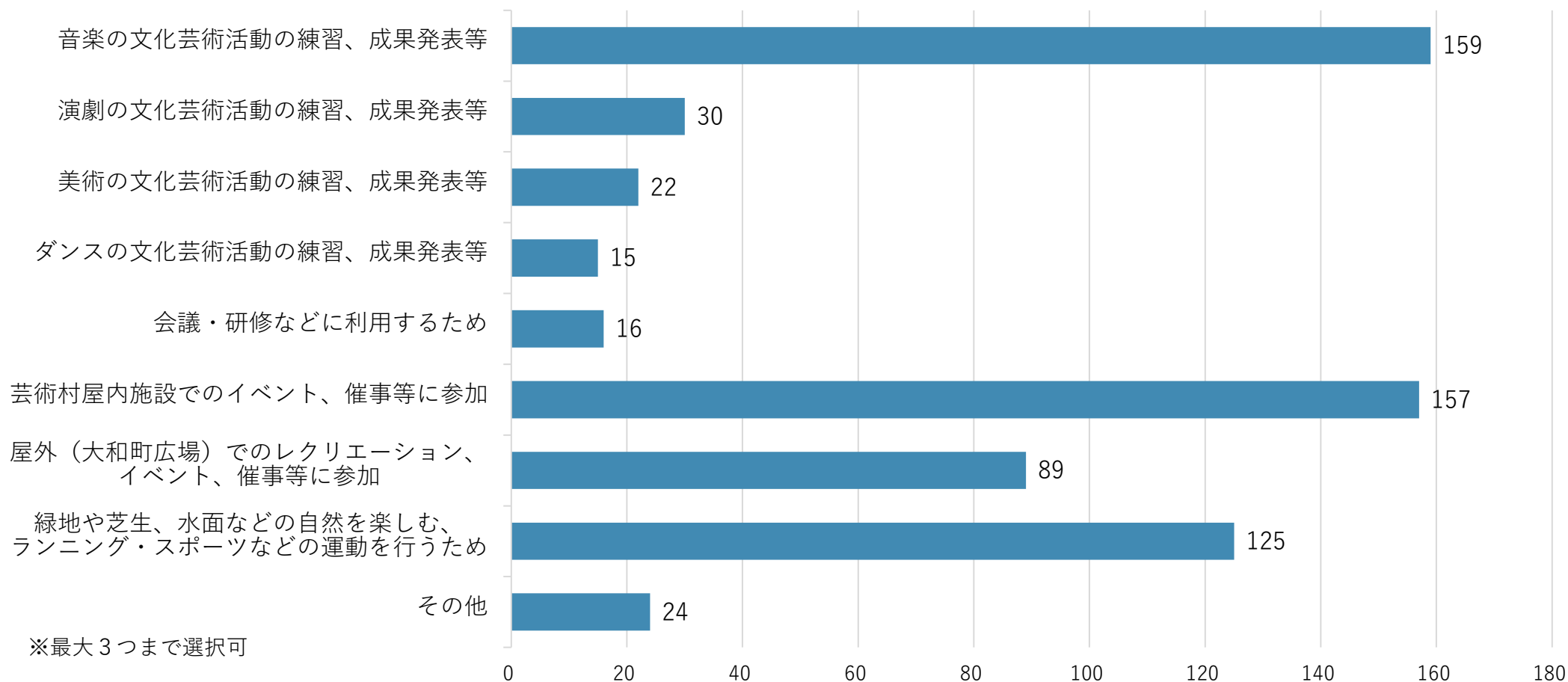


2 市民アンケートの結果

(3)現在の利用状況

主な利用目的

「音楽の文化芸術活動の練習、成果発表等」が最も高く、
次いで「芸術村屋内施設でのイベント、催事に参加」が高い

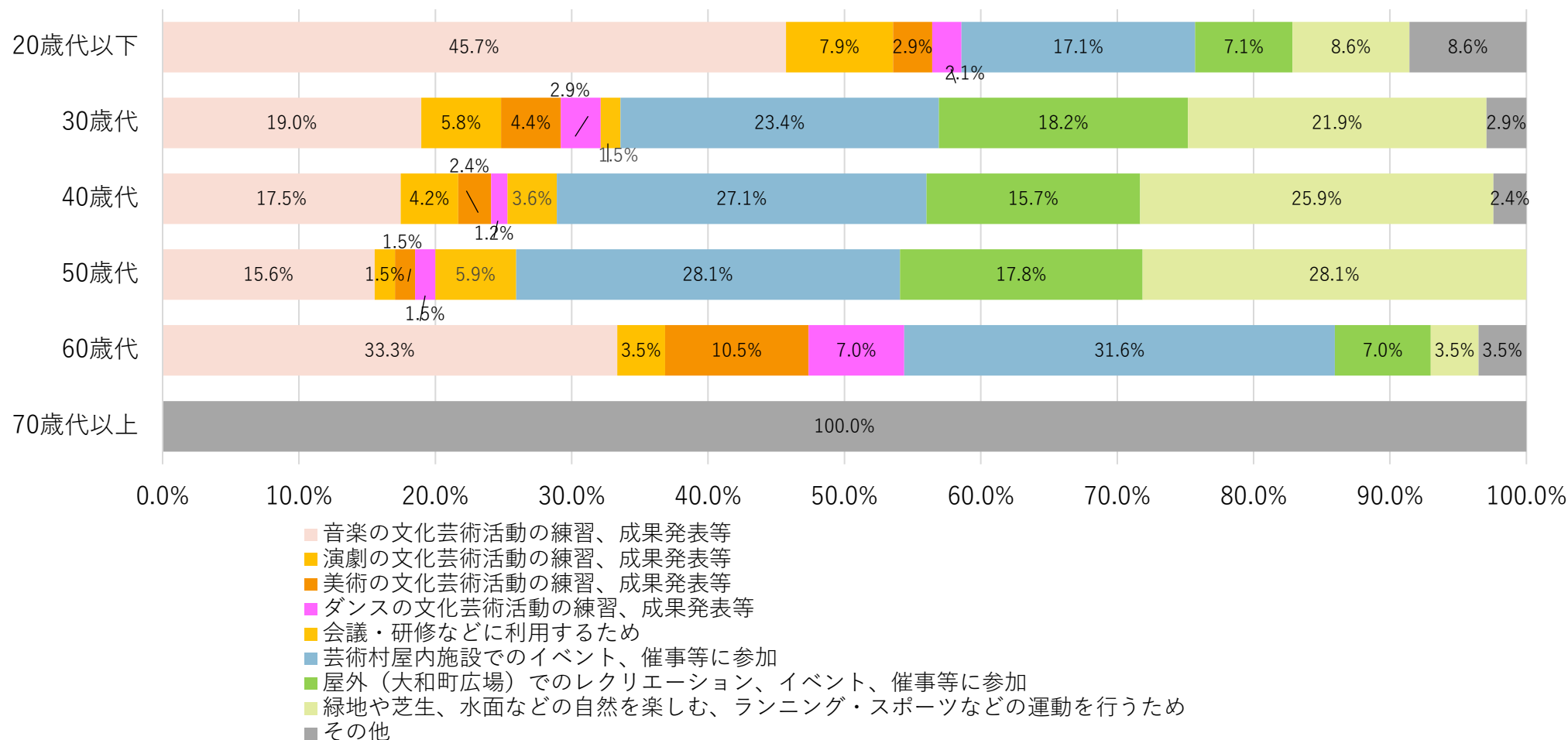


2 市民アンケートの結果

(3)現在の利用状況

主な利用目的
×年齢

20歳代以下と60歳代では「音楽の文化芸術活動の練習、成果発表等」が最も高く、30～50歳代は「芸術村屋内施設でのイベント、催事等に参加」が最も多いが、概ね全項目とも同じ傾向

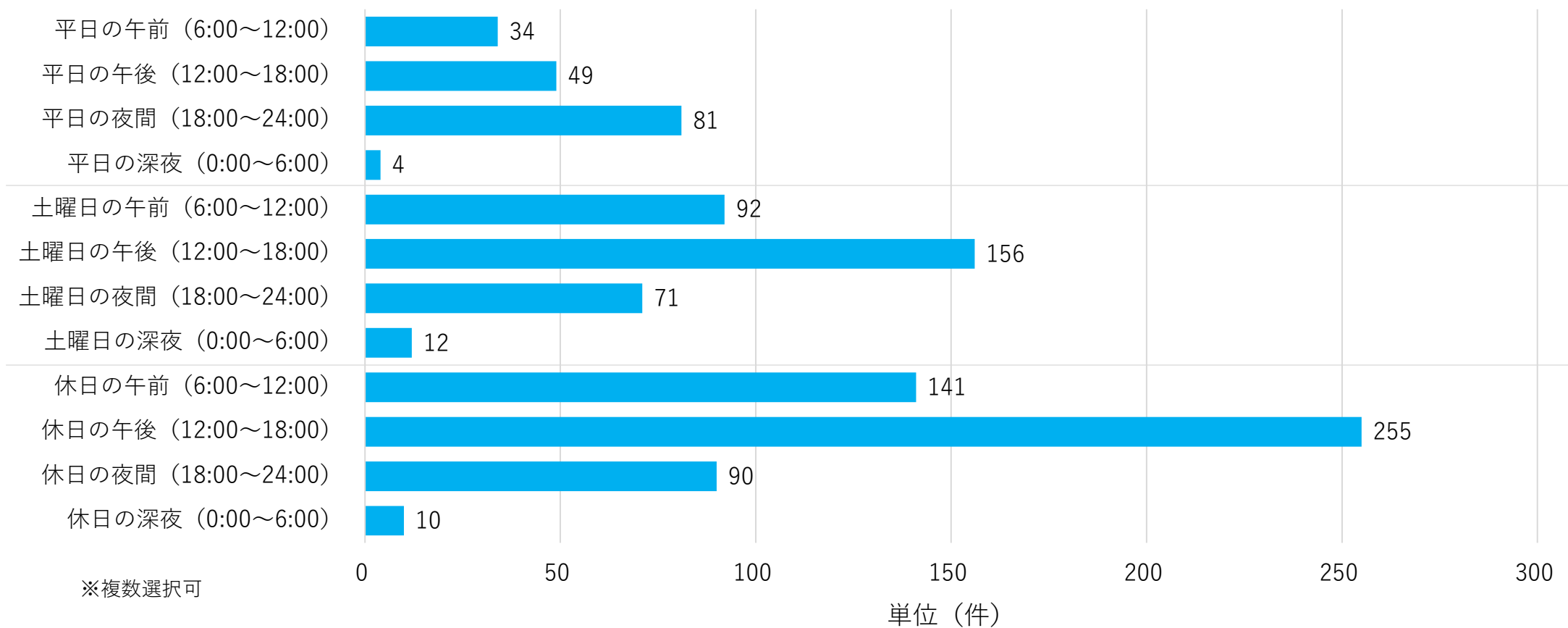


2 市民アンケートの結果

(3)現在の利用状況

主な利用日 ・時間帯

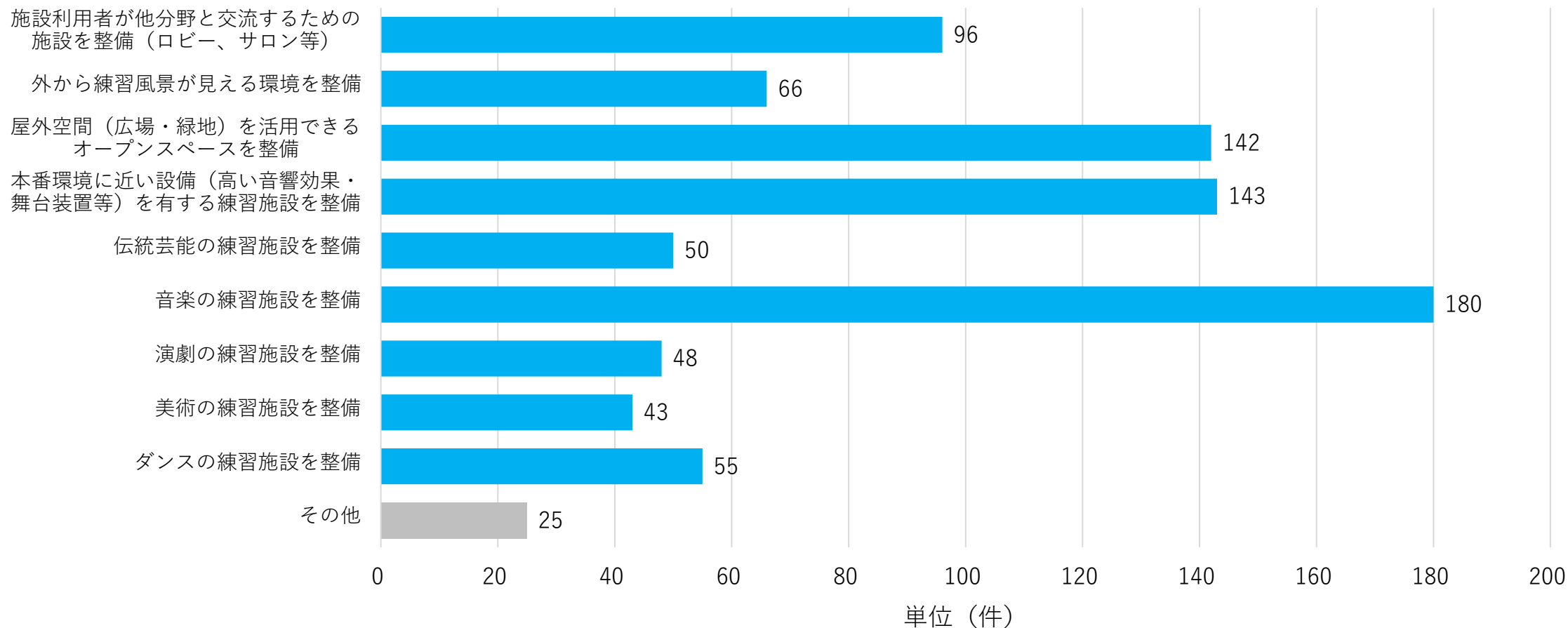
平日は夜間（18～24時）の利用者が最も多い
土曜日、日曜日は午後（12～18時）の利用者が最も多い
全項目を通して、深夜（0時～6時）の利用者が最も少ない



2 市民アンケートの結果

(4) 金沢市民芸術村のリニューアルについて

リニューアル整備に期待すること 「練習施設を整備」が最も多く（全分野計376件）、次いで、「本番環境に近い設備」、「屋外環境を活用できるオープンスペースを設備」が多い



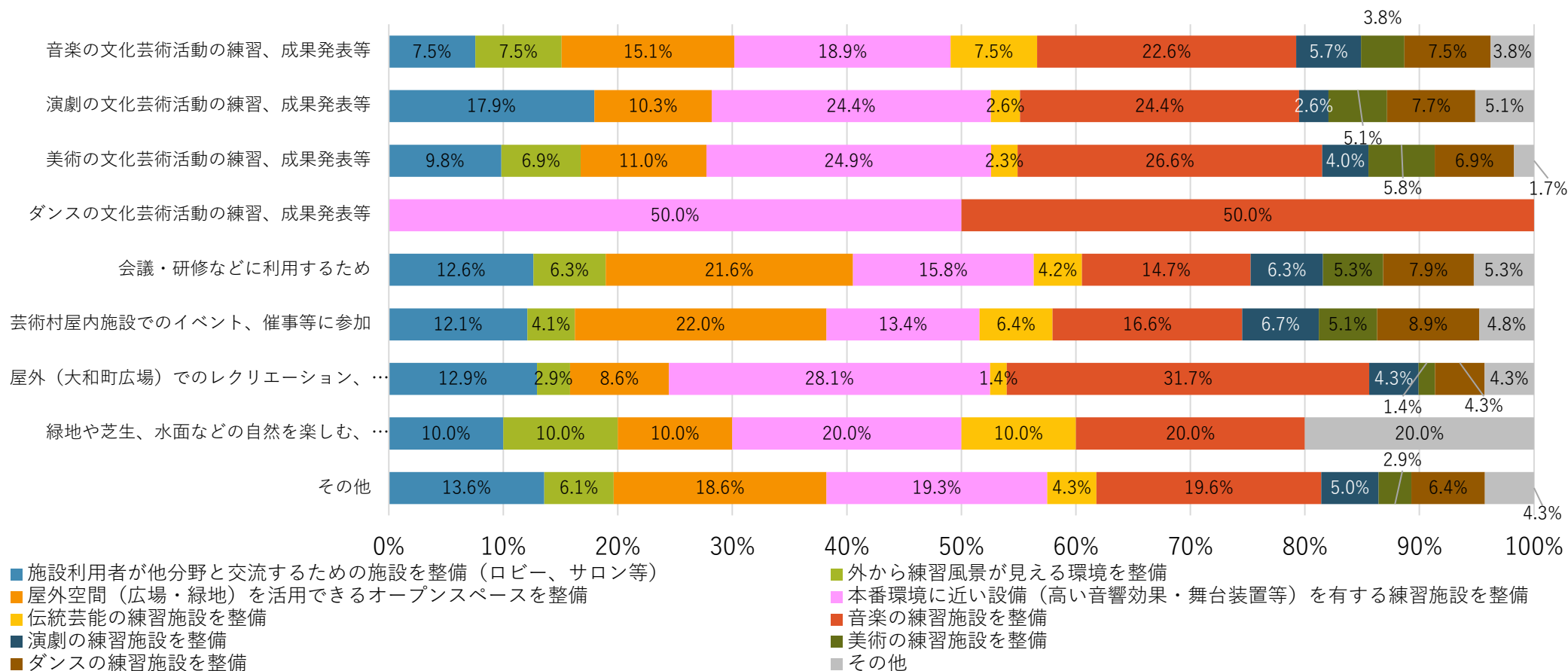
2 市民アンケートの結果

(4) 金沢市民芸術村のリニューアルについて

利用目的×リニューアル設備に期待すること

音楽施設の利用者以外からも「音楽の練習施設を整備」に期待する回答が多い。

同様に「本番環境に近い設備を有する練習施設」「他分野と交流するための施設」が分野を問わず回答が多い。



2 市民アンケートの結果

(5) その他意見

その他意見 ハード整備においては、練習場所の追加、メンテナンスや保管場所の追加に対する意見が多かった。

No	項目	件数
1	施設の利用について(料金、利用時間・運用の継続、マナーやルールの徹底等)	10
2	練習場所の追加	8
3	設備・楽器・環境（メンテナンスや保管場所の追加）	8
4	音漏れ対策について	6
5	屋外施設(ステージ・遊具・雲梯・モニュメント設置等)の要望	5
6	芸術村の存続希望	5
7	防災利用・防犯設備や照明の整備についての要望	4
8	予約（取りづらいつ況への改善、簡単な予約システムへの変更など）について	4
9	現状に満足の声	4
10	音楽活動（活動の場の増設、継続的な運営要望など）について	3
11	子供たちが芸術・文化に触れ合うきっかけとなるリニューアルへの要望	3
12	駐車場の拡充	2
13	宿泊施設の整備(芸術村周辺)についての要望	2
14	交流場所の追加	2
15	イベントの開催（アカペライベント、金沢21世紀美術館の補完的な機能など）について	2
16	飲食スペースの追加、遊歩道の整備、バリアフリーの整備、陶芸活動の体験に関する要望、大学生の利用促進について、他の文化施設との差別化、職員に対する意見	各 1

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

【基本理念】 【目指す姿】

【機能】

【リニューアル概要：方針／整備案】

芸術村の理念継承と

文化の未来を生み出す拠点づくり
～市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ～

次代を担う子ども
や若人たちが文化
芸術に親しむ場

多彩な文化芸術
活動ができる場

新たな歴史と交流
を生み出す場

練習

発表

交流

【既存施設】

方針1
機能維持・強化や長寿命化

配管及び機器等の更新

劣化腐食部分、照明・トイレの改修

空調、換気、防災、舞台設備などの更新

移動の円滑化、安全性の確保

方針2
バリアフリー化の推進

【新施設】

方針1
子どもたちをはじめ、
あらゆる世代の利用に
資する施設

子供たちに文化芸術に触れる機会を提供

- ・ 伝統芸能等に利用可能な和室
- ・ 音楽、ダンス、演劇等の練習に利用可能な中規模練習室
- ・ 個別練習に利用可能な小規模練習

多彩な創作活動や成果発表に対応できる環境の整備

- ・ 本番環境に近い設備を有する練習室
- ・ 大和町広場を活用した野外ステージ

方針2
様々な人が気軽に立ち寄り、
交流・観覧できる施設

多様な人々が交流できる環境の整備

- ・ 練習・制作風景を観覧できる交流エリア
- ・ オンライン指導やセッションが可能なWi-Fiなど、デジタル化の推進

施設規模(案) 延べ床面積 約1,700㎡
(うち、練習室面積 約930㎡)

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

【参考】金沢市民芸術村について(ホームページより)

糸を紡ぐ工場から、 地域の文化を紡ぐ場所へ

約10ヘクタールに及ぶ緑あふれる広大な敷地には、かつて紡績工場がありました。
金沢市民芸術村は、吹き抜けの高い天井や赤レンガの壁面など旧大和紡績倉庫群の魅力を活かして改修し、市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行える施設として、平成8年(1996年)に誕生しました。以来、年間およそ20万人が利用する、地域の文化発信・交流拠点となっています。
金沢市民芸術村は、次代を担う若者たちの文化活動の育成を図り、市民の多彩な創作活動を支え、個性豊かな地域の文化芸術を醸成してきた金沢のDNAを紡ぐ場となることを目指しています。

いつでも、だれでも、自由に -年中無休・24時間・自主管理-

金沢市民芸術村は、年中無休・24時間・低料金で利用できる施設となっています。
利用者は、早朝から深夜に及ぶまで、退館時間を気にすることなく、思う存分様々な創作活動に打ち込むことができます。
運営面では、「原状復帰」を原則に、利用者自身が責任をもって施設を使用する「自主管理方式」をとっています。
これは、自由な表現活動が保証される代わりに利用者自身も責任を持つ、金沢市民芸術村独自の運営方法と言えます。

「市民が主役」となるために -市民ディレクター制-

金沢市民芸術村ではさらに、公立文化施設の中で全国初の「市民ディレクター制度」を導入しています。
「ドラマ」「ミュージック」「アート」の3つの工房には、演劇・音楽・美術の専門家の中から、バランス感覚に優れ、ボランティア精神を有する人材を公募で各2名選出し、工房運営を任せています。
利用者の代表でもあるディレクターたちは、数年間の任期中、施設利用を活性化し、市民が芸術への関心を深め、身近に参加できる主催事業(アクションプラン)の企画・立案などに取り組み、「市民が主役」となる施設運営を行っています。

アクションプラン事業

アクションプラン事業とは、ドラマ・ミュージック・アートの3工房の市民ディレクターが企画・立案する金沢市民芸術村の主催事業です。
初心者でも気軽に参加できる体験型ワークショップや、子供から大人までを対象とした多彩なイベントを展開しています。
市民が気軽に芸術文化に触れる機会の提供、次代を担う若者への支援事業、市民への啓発事業を通して、金沢市の新しい芸術文化創造の育成に寄与することを目的に実施しています。

(1) 基本理念

○第1回会議でお示したリニューアルの目的

- ・施設（建築物・設備）の機能維持や長寿命化
- ・文化芸術活動の拠点としての機能向上
- ・子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供できる新たな施設

○第1回会議の主な意見より

- ・市民ディレクター制度の継続
- ・新たな歴史として、新たな要素を加え、新しいものをつくりだす
- ・伝統文化の子ども塾の活動拠点として活用
- ・練習、発表、交流の場

○市民アンケートより

- ・練習場所の充実
- ・子どもたちが芸術・文化に触れ合うきっかけとなるリニューアル



芸術村の理念継承と文化の未来を生み出す拠点づくり
～市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ～

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(2) 目指す姿

第1回会議のご意見から

次代を担う子どもや若人たちが
文化芸術に親しむ場

小さな施設規模でも発表できる場所があると、
様々な人が気軽に立ち寄れる場所や、様々な文化に
ふれる機会などになる

若者が気軽にリサイクルできる空間があるとよい

子ども塾の拠点として活用できるとよい

時代のニーズに適したリニューアル整備になるとよい

多彩な文化芸術活動ができる場

野外ステージがあってもよい

響きのよい練習場があるとよい

デジタル化を進め、リアルタイムで外部と連携・セッションができると面白い

練習、交流、発表がミックスするよう、新たな施設は「みせる」、「みえる」ことで交流する
ようなものとなるとよい

制作部分を観覧できる場所が整備できると面白い

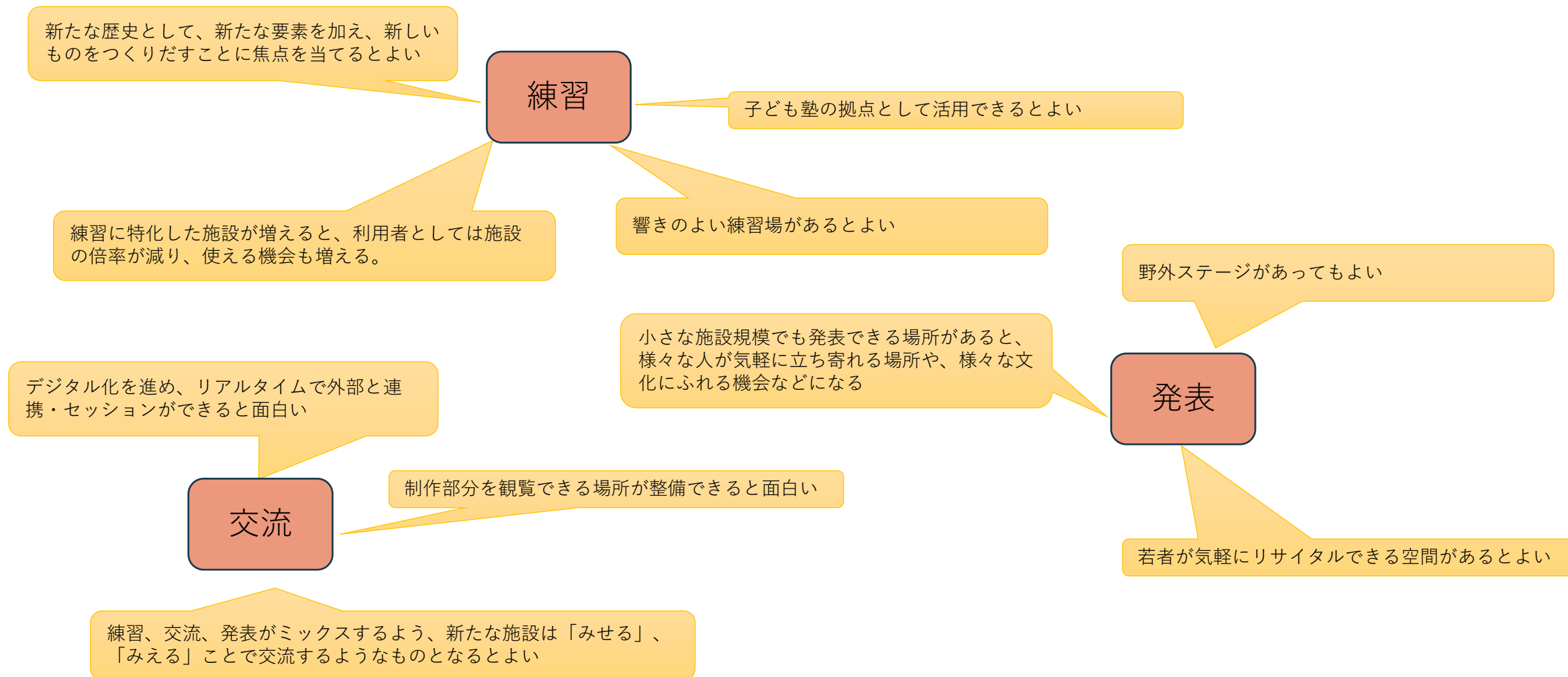
新たな歴史と交流を生み出す場

新たな歴史として、新たな要素を加え、新しいものをつくりだすことに焦点を当てるとよい

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(3)求められる機能

第1回会議のご意見から



3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(4) 既存施設の改修・修繕

第1回検討委員会の議論を踏まえ、既存施設については、
バリアフリー対応、設備の更新、建築の修繕を実施



方針 1

機能の維持・強化や長寿命化など、
既存施設の価値や魅力を継承する整備

方針 2

バリアフリーに対応した誰もが利用しやすい環境の整備

(4)既存施設の改修・修繕

方針 1

■建物の内部、外部における劣化腐食部分の改修

- 内装材補修及び交換、白アリ被害部分の補修、
床材張替などの内部改修
- 屋根板金、防水、樋の改修、柱・外壁の補修及び塗装の更新、
トップライトのガラス・パネル交換などの外部改修

■照明・トイレの改修

- 照明器具のLED化、トイレの洋式化など

■設備の配管及び機器等の更新

- 配線器具、消火栓ポンプ、非常用発電機及び始動用蓄電器、
給水、ガス、排水配管などの更新
- 空調、換気、防災、舞台設備などの更新

(4)既存施設の改修・修繕

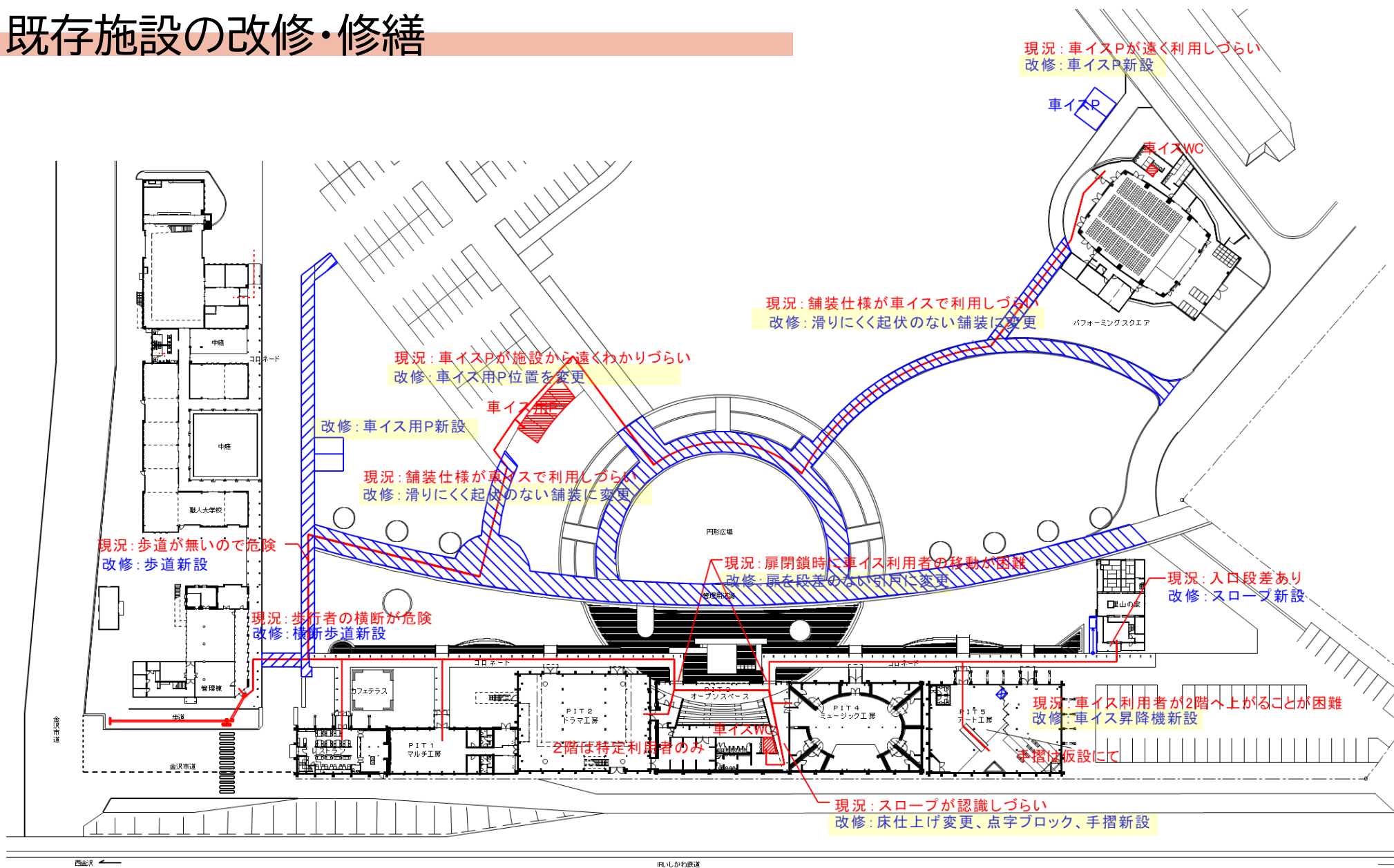
方針2

■移動の円滑化、安全性の確保

- 外構を起伏のない舗装に変更（通路・コロネード含む）
- 建物に隣接する車椅子使用者等用駐車スペースの新設
- オープンスペース等の引き戸について、段差のない引き戸に改修
- 車いすリフトなどの設置
- 誘導用ブロック、スロープ、手摺などの設置

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(4) 既存施設の改修・修繕



3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(5)新施設の整備

第1回検討会の意見及び市民アンケート結果を踏まえ、
以下の方針に基づき新たな施設を整備



方針1

子どもたちをはじめ、あらゆる世代の利用に資する施設

方針2

様々な人が気軽に立ち寄り、交流・観覧できる施設

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(5)新施設の整備

方針 1

方針 2

■子供たちに文化芸術に触れる機会を提供

- 金沢の伝統芸能やダンス、音楽、演劇等の練習場所を整備
- 中学校文化部活動の地域展開を見据えた環境を整備

伝統芸能等に利用可能な和室

音楽、ダンス、演劇等の練習に利用可能な中規模練習室

個別練習に利用可能な小規模練習室

■多彩な創作活動や成果発表に対応できる環境の整備

- 音響などに優れた環境を整備
- 野外向けステージなど、屋外広場等を活用できる環境を整備

本番環境に近い設備を有する練習室

大和町広場を活用した野外ステージ

■多様な人々が交流できる環境の整備

- オープンスペースなど、気軽に交流できる環境を整備
- 文化芸術の練習風景を気軽にみることが出来る環境を整備

練習・制作風景を観覧できる交流エリア

オンライン指導やセッションが可能なWi-Fiなど、デジタル化の推進

(5)新施設の整備

■施設規模(案)

①既存施設（練習施設）の延床面積等

	区分	構造	延床面積
01	PIT1マルチ工房 (第2・3倉庫)	木造・外壁レンガ+RC造	253.27㎡
02	PIT2ドラマ工房 (第4倉庫)	鉄骨造・外壁RC造	842.27㎡
03	PIT4ミュージック工房 (第6倉庫)	木造一部RC造・外壁レンガ造	497.67㎡
04	PIT5アート工房 (第7倉庫)	木造一部鉄骨造・外壁RC造	685.80㎡
05	パフォーミングスクエア	SRC造	798.4㎡
06	里山の家	木造	304.89㎡
合計			約3,400㎡

(5)新施設の整備

■施設規模(案)

②新施設の機能想定

○音楽(吹奏楽、合唱、JAZZなど)やダンス、演劇や子ども塾の練習など、多目的な利用ができるエリア

→現在の中学校文化部活動や子ども塾で使用している練習室面積から必要な面積を想定

○人々が集まる空間、野外ステージ、様々な人が気軽に立ち寄れる場所、制作・練習風景を観覧できるエリア

→練習室以外の空間を活用

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

(5)新施設の整備

■施設規模(案)

③現在の中学校文化部活動と子ども塾で使用している練習室面積

赤字合計：約930㎡

	区分	練習室面積	備考
01	吹奏楽部	約450㎡（内訳）全体練習：音楽室 約130㎡ パート練習：約40㎡×8部屋	学校数:20校
02	合唱部	約130㎡（音楽室）	学校数：3校
参考	（華道部）	約130㎡（家庭科室）	学校数：4校
参考	（科学部）	約130㎡（理科室）	学校数：11校

	区分	練習室面積	備考
01	素囃子子ども塾	約330㎡（教育プラザ富樫） 【内訳】全体練習：研修室131 約150㎡ パート練習：研修室211 約100㎡ スタジオA 約80㎡	定員：20名
02	金沢工芸子ども塾	約120㎡（金沢美術工芸大学 共通工房 1室）	定員：20名 その他カリキュラムに応じた専用の部屋が必要
03	加賀宝生子ども塾	約200㎡（金沢能楽美術館 3階研修室）	定員：20名
04	金沢・茶道子ども塾	約135㎡（旧中村邸） 【内訳】1階：7畳半、10畳広間、12畳寄付、6畳 2階：27畳、12畳広間	定員：20名

(5)新施設の整備

■施設規模(案)

延べ床面積 約1,700㎡ (うち練習室面積 約930㎡)

新施設の整備により、市民芸術村練習施設全体の延べ床面積が50%増加

子どもから大人まで十分な練習環境を創出

※ただし、建築費の高騰や財政環境の変化があった場合は、規模の縮小など柔軟に対応

(参考)

既存練習施設 6施設合計 約3,400㎡ × 50% ≒ 約1,700㎡

※パフォーミングスクエア (約800㎡) の約2倍相当

練習場面積/延べ床面積 = 約450㎡/約800㎡ ≒ 約55%

※中学校文化部活動 (吹奏楽・合唱) 練習室面積 580㎡

こども塾 (素囃子・加賀宝生) 練習室面積 350㎡ 合計 約930㎡

練習場面積/延べ床面積 = 約930㎡/約1700㎡ ≒ 約55%

3 金沢市民芸術村リニューアル基本構想骨子案

【基本理念】 【目指す姿】

【機能】

【リニューアル概要：方針／整備案】

芸術村の理念継承と

文化の未来を生み出す拠点づくり
～市民が主役であり続ける、さらなる文化芸術活動の拠点へ～

次代を担う子ども
や若人たちが文化
芸術に親しむ場

多彩な文化芸術
活動ができる場

新たな歴史と交流
を生み出す場

練習

発表

交流

【既存施設】

方針1
機能維持・強化や長寿命化

配管及び機器等の更新

劣化腐食部分、照明・トイレの改修

空調、換気、防災、舞台設備などの更新

移動の円滑化、安全性の確保

方針2
バリアフリー化の推進

【新施設】

方針1
子どもたちをはじめ、
あらゆる世代の利用に
資する施設

子供たちに文化芸術に触れる機会を提供

- ・ 伝統芸能等に利用可能な和室
- ・ 音楽、ダンス、演劇等の練習に利用可能な中規模練習室
- ・ 個別練習に利用可能な小規模練習

多彩な創作活動や成果発表に対応できる環境の整備

- ・ 本番環境に近い設備を有する練習室
- ・ 大和町広場を活用した野外ステージ

方針2
様々な人が気軽に立ち寄り、
交流・観覧できる施設

多様な人々が交流できる環境の整備

- ・ 練習・制作風景を観覧できる交流エリア
- ・ オンライン指導やセッションが可能なWi-Fiなど、デジタル化の推進

施設規模(案) 延べ床面積 約1,700㎡
(うち、練習室面積 約930㎡)

4 第2回会議における意見交換の論点

- 骨子案に加えるべき視点、役割、機能

など

5 今後のスケジュール

全体スケジュール

年 月	会議等	内容
2025年8月	市民アンケート	・ 回答内容の集計・分析
本日	第2回検討委員会	・ 機能、規模案 ・ 基本構想骨子案
2026年1月頃	第3回検討委員会	・ 基本構想案